

## 会議録

|   |                              |
|---|------------------------------|
| 会議の名称   | 令和4年度第5回野洲市子育て支援会議           |
| 開催日時  | 令和5年3月20日(月) 午後2時から午後3時15分まで |
| 開催場所  | 野洲市役所 本館2階 庁議室               |
| <p><b>【出席者の氏名等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野洲市子育て支援会議委員 (◎: 会長 ○: 副会長) ※順不同<br/>             山戸萌委員、上和之委員、○水谷威彦委員、<br/>             ◎三上佳子委員、浦谷ふみ子委員、小島章愛委員<br/>             欠席6名(吉田弓恵委員、泉井郁美委員、太田笑子委員、中島智栄子委員<br/>             細谷亜紀子委員)</li> <li>・事務局(市)<br/>             佐野副市長、田中健康福祉部政策監、<br/>             [こども課] 西村課長、宮崎主席参事、森本主席参事、岡本</li> <li>・傍聴者 2人</li> </ul>   |                              |
| <p><b>議事(1) 第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度実績について</b></p> <p style="text-align: right;"><b>【資料3】</b></p> <p><b>【説明】</b>事務局より第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度における①「幼児教育・保育の量の見込み及び確保方策」と②「地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策」の2つについて、以下のとおり資料3をもとに主旨・概要を説明した。</p> <p>①「幼児教育・保育の量の見込み及び確保方策」の令和4年度実績について</p> <p>幼稚園入園希望の1号認定の申込み者は全て入園いただいたが、保育所希望の2号、3号認定の申込み者は49人の待機児童が発生した。49人のうち、国基準で9人。その他は40人で、希望園を限定したり、きょうだいで同一園の入所を希望している希望者のため国基準から外した。</p> <p>令和4年度の主な計画と実績は、待機児童を解消するために、人材バンク事業で人材確保に向けた取り組みを行ったが、年度途中や育休明けでの保育所等利用希望者に対応ができるだけの保育士人材の確保や待機児童の解消に繋がる人材確保には至らなかった。また、小規模保育事業では、令和4年度開園した2園に引き続いて、令和5年度開設する事業者の公募を行い、1事業者を決定した。少子化で子どもの人数は減少しているが、保育ニーズは高くなっている。そのためにもさらなる保育の受け皿の拡大に向けた取り組みが必要となる。</p> <p>②「地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策」の令和4年度実績について</p> <p>地域子ども・子育て支援事業は子ども・子育て支援法に基づいた13の事業があり、4ページの「地域子育て支援拠点事業」は、3つの子育て支援センター施設で事業を行っている。コロナ対策による人数制限を設けて開放を行ったため、年間の利用人数は減ったが、年間を通じて開放することが出来た。</p> <p>5ページの9番目「延長保育事業」は、保育園で実施することから、その確保の内容は保育園定員と同じになるが、園の実情により計画した量を確保できなかったため、達成度をBとした。</p> <p>10番目「病児保育事業」は、確保の内容に対して、実績数は満たされているが、体調不良児対応型事業は、対象の保育園に看護師を配置して事業を行っているが、野洲第三保育園と三上</p> |                              |

保育園において、看護師の退職により一時的に事業を休止したため、達成度をBとした。現在、2園とも看護師の配置はできている。

6 ページ、11 番目「放課後児童健全育成事業（学童保育）」は、待機児童の発生はしていないが、地域により利用者数の偏在があり、特に北野こどもの家では、令和3年度には、季節（春季・夏季）利用時に定員超過したことから、北野小学校音楽室を利用した。令和4年度は、通年利用申し込み時点で定員超過したことから一年を通じて音楽室を利用した。令和5年度も令和4年度同様に年間を通じて、音楽室を利用して保育を行う。今後も待機児童を発生しないよう、地域による利用者数の偏在を注視していくとともに、学校の協力を得て教室等を活用することができれば、大幅な経費削減につながると思う。

【意見・質疑】委員からの意見・質疑等の概要は以下のとおり。

質 問：資料5、保育園・こども園で、定員1,167人に対して、希望者数1,158人で、定員を下回っているが、待機児童が出ているのはなぜか。

回 答：各年齢児の定員や先生の配置状況もあるので、全体的にみると定員に対して希望者数が下回るが、待機児童が発生する状況になる。年齢によって保育士の配置基準が異なっており、4、5歳児は30人の子どもに対して1人の保育士で、30人の定員にはならず、空いている状況だが、0歳児は3人に対して1人の保育士で、3人の定員に対して、4、5人の申込みがあると入れないので待機ができる。このことから定員よりも希望数が少なくても待機児童が発生してしまう。

質 問：2ページ(2)のマイナスの表記が分かりづらいのですが。

回 答：表の表記がおかしくてすみません。全体の待機児童49人から国基準9人を引いて、その他の待機児童が40人となる。

質 問：国の基準が甘くて、それが9人ということか。どういう扱いになっているのか。

回 答：国基準は、甘いではなく、園を選ばずにどこでもいいので入りたいと希望したが入所できなかった。その方が9人。どうしてもこの園に入りたいと限定している場合などは、国基準から抜いている。その方が40人となる。

意 見：受け皿はあったが、希望するところではなかったから決まらなかったということになる。3ページのグラフは国基準で待機児童は、令和4年度は9名だったが、令和5年度は、令和5年1月末時点で43人の見込みとなっている。

質 問：(6)の課題が令和5年度の内容になると思う。そこで保育士確保が必要、ニーズが増えているので募集する人も増えていると思う。令和4年度はどのように保育士の確保をされたのか。

回 答：保育士の確保がとても悩ましい問題で、三方よし人材バンクを野洲市で設けて行っている。採用している方はたくさんいるが、それ以上に退職される方がいるため、入る方より辞める方が多い現状になっている。一番の課題だとは思っているが、なかなか止められない実情がある。先生がいないと受入れが出来ないので、先生の人数によって制限されている。特に顕著に表れているのが公立園で、雇入れが出来ていないのが現状である。

質 問：どうしたら食い止められるのか。分析ができているのか。例えば体調面なのか、労働的にきついのか。処遇を上げるとか資格を取るような補助をすとか、何か仕掛けをしないと毎年同じような話をしないといけない。

回 答：その通りですごく難しい。保育士不足は、野洲市だけの問題ではなく、全国的にずっと問題になっている。お金だけの問題ではなく、一番は責任の重さだと感じている。お子様を預かるということは、命を預かるということ。小学校の先生でも当然あるが、小さいお子様を預かることで、かなりピリピリしながら仕事をしなければならないの

で、そこが一番心身的にきつと思う。特に最近、不適切保育が全国的に色々言われている。野洲市ではやっていないと信じているが、そういう目で見られて、とても悔しい思いして保育をしていると聞いている。世間的には保育士に対して、厳しい流れになってきていると感じている。

質 問：達成度の考え方について。

回 答：5ページ10番目の病児保育事業のBについては、体調不良児対応型事業は各園に看護師を配置して実施しているが、都合で退職され、新たに雇い入れるまでの数か月間、空きが出来てしまい、確保が出来なかったことからBとした。それ以外の事業については、計画数においてその目標、実績、受け皿は常に設けている状態であると判断しているのでAになっている。判断の仕方を見直す必要があると思うが、今はそのような見方でやっている。

回 答：実績以上に計画数が確保出来ているのに、差がマイナスの表現になると達成できていないイメージになる。確保できた量がこれだけ上回ったからAですよという資料の作り方もある。事務局で検討してプラスなら達成、確保できているからAというように見直す方が理解しやすいと思う。

質 問：8番目の一時預かり事業の幼稚園のことで、中主幼稚園では空き教室を利用して18時まで、預かり保育担当の先生が主となり保育をされている。野洲市には、公立保育所、こども園があるが、幼稚園の先生の勤務時間帯と公立保育所の先生の勤務時間帯が違うのかなと思ってしまう。本当は同じなのに。幼稚園児は2時に帰るので、先生はそれから掃除、次の日の保育の準備や職員会議されている。公立保育所では、もっと遅い時間まで子どもたちがいる。ひとりの先生がずっと保育をしているのではなく、交代で保育をされている。中主幼稚園はいくつも部屋が空いているので、部屋を直してこども園にすれば定員が増えるので、待機がなくなるのではないかと考えてもいいのではないかと。近くにあやめ保育園があるし、人材の確保にお金が必要なので難しいのは分かっているが。公立の先生は、異動もあるので自分で勤務先を選べない、こども園、幼稚園、保育園だったりするので、幼稚園は楽だから良かったとか、保育園は嫌だとか思っている先生も中にはいるとは思いますが。

回 答：幼稚園は以前から教育としての預かり保育をしているが、保育園と幼稚園を合体していくのは、国の考えでもあるので、今のこども園はすりあわせながらやっている。また、先生の中には、今もそのような考えが残っているのかもしれないが、時間をかけて先生の交流を行い、考えをなくしていくしかないと思う。中主幼稚園は立派で大きな施設で、他園に比べると部屋に余裕があるので、そこを活用してできるだけ入ってもらう方法もある。また、野洲市は預かり保育を早くから実施しており、朝8時から18時まで、保育園並みに行っているのは、他市より良いところだと思っているので生かしていきたい。こども園化の考え方はゼロではないが、全体的な考えもあるので、検討する必要がある。

意 見：私は、他市の保育現場で働いていたが、野洲市さんは早くから18時まで預かり保育されていてすごいなと思っていた。その頃は15時までが多かったので。野洲市の幼稚園の一時預かりは先進的に行っておられることを活用出来たら良いと思う。

【結果】第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度における「幼児教育・保育の量の見込み及び確保方策」及び「地域子ども・子育て支援事業の量の見込み及び確保方策」については、それぞれ実績を点検、評価した上で、今後の方向性等は認められるものとして、承認された。

## 議事(2) 令和5年度小規模保育事業の設置及び運営事業者の公募について 【資料4】

【説明】事務局より以下のとおり主旨・概要を説明した。

本市の現状として待機児童は、1～2歳児に多く見られ当該年齢児を抱える保護者の保育ニーズに応えるため、令和3年4月、「第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画」に小規模保育事業A型を導入する一部見直しを行った。計画に基づいて、令和3年度は予定通り2園開設したが、令和4年度は1園の選定、開設(予定)となった。令和5年4月時点で、小規模保育園は3園を開設し、昨年度より保育所全体の入所定員は19人増加しているが、待機児童の解消には至っておらず、令和5年1月時点での令和5年度保育所等入所申込み状況は、国基準の待機児童は43人となった。

令和5年度においても、待機児童の解消を図るため、令和4年度に開設できなかった小規模保育園1園を令和6年4月開設に向け、小規模保育事業者の公募・選定を行う予定をしている。

令和5年度小規模保育事業者の設置及び運営事業者の公募については、質の高い保育の提供、保育の量の確保を行うため、これまでに開設した3園と同じ類型である、小規模保育事業A型の開設及び運営事業者の公募を行う。

募集の内容 募集種別・・・小規模保育事業A型  
募集地域・・・野洲学区、北野学区を基本地域とする  
募集数・・・1カ所  
定員規模・・・定員19人(0歳児2人、1歳児5人、2歳児12人を基本)  
保育対象・・・保育の必要性の認定を受けた0歳児から2歳児  
施設・・・事業者が所有又は賃貸する物件  
募集資格・・・社会福祉法人又はその他の法人  
開園時期・・・令和6年4月1日

#### 【意見・質疑】

質 問：今後、小規模保育園を待機児童解消のために増やしていくが、今後、少子化が進み待機児童がなくなり、保育園、公立園に余裕が出来た場合、民間業者には閉園してもらうのか。小規模保育事業者の運営の取扱いはどのようにするのか。

回 答：現在の公立園の定員は施設の最大限まで、無理して拡大をして定員を増やしている。当初の施設規模想定よりも多い定員になっているので、元に戻そうと考えており、少子化が進んでも小規模園での対応は可能だと思っている。今後は、次期の計画に向けてニーズ調査を行う予定をしており、来年度予算要求をしている。ニーズ調査をして、令和7年度からの次の計画に向けて検討を行いたい。

回 答：少子高齢化が進み、コロナの影響もあり、子どもの出生数が減少しているが、資料5にあるように幼稚園のニーズは減っているが、保育所のニーズはほぼ変わらない。ニュースでもあるように、扶養の103万円、130万円の壁があるので、何か取っ払うような補助を出してもらい、その配偶者の働き方を変えて、みんなが長時間働くようになれば、今後も保育ニーズは極端には減らないと見込んでいる。小規模保育事業は、最低10年はやってくださいという条件になっている。それで、仮にニーズが減少したとしても、課長が申したように、公立園は、施設面積基準のギリギリまで預かっている園もあるので定員の見直しを行い、運営できるよう調整していく必要がある。

質 問：人数を確保するために小規模を作るように感じる。人数も大事だとは思いますが、本当のニーズ、本当に小規模に行かせたいと思っている人がいるのかと思う。私の周りだけかもしれないが、仕方なく行くと聞くことが多い。小規模を増やすだけではなく、公立を変えてもらおうとか、それ以外のやり方を考えてもらいたい。

回 答：小規模園が嫌な人ばかりではなく、小さいところが良いので、小規模に行きたい方もおられる。当然、きょうだいがいると園が分かれてしまったり、3歳からは次の園に行かないといけないので、それならずと同じ園にいたいという方もおられる。小規模のニーズと言われるのなら小規模にはデメリットがあるかもしれませんが、今後、小規模を増すかについては、ニーズ調査を行い、検討を行うことになる。今は第2期計画の中間見直しで、小規模園4園を開設しなければ待機児童がなくなるということから踏み切った。待機児童がなくなれば、行きたい園に行けるようになるが、小規模園にも行ってもらわないといけないので、そのあたりの調整は難しいがやっていかなければならない。

質 問：小規模園は2歳までなので親御さんは次への不安と、きょうだいのこともあると思うが、小規模に入って、次どうなるのかが一つの要因であると思う。連携施設のことが掲がっているが補っていけるのか。園にいる間にニーズを聞いてスムーズに3歳に行けるのか。

回 答：連携施設は難しい問題で、都会みたいに連携施設が自前で小規模園が持っておられたり、小規模園が自前で連携施設をつくったりできればいいが、野洲市の規模では難しいので、公立園のさくらばさまと三上を連携園としている。三上に希望を出してほしいと思っているが、やはり生活圏が少し違うのと、交通の便に問題があるようで、三上への希望がないのが現状。さくらばさまへの希望が多い状況なので、さくらばさまについては、来年度、2階にあるランチルームの部屋を3歳児の保育室へ改修工事を行い、ひとクラス増やす計画をしている。それで一定、連携園として機能が果たせると思っている。さくらばさまに行く方もいるが、必ず連携園に行かないといけないということではないので、その他の園にもそれぞれの希望で入っておられるので、飲み込めると思う。また、幼稚園では預かり保育を6時まで行っているの、就労状況によって預かり保育の利用もできる。今回の実績では、幼稚園で預かり保育を利用されている方もおられるので、そういう形で見込めるとしている。

質 問：今小規模園は2園ですが、4園になるが、すべての小規模の方がさくらばさまを規模されたらどうなるのか。

回 答：令和5年度については、増やさなくても受入れが可能であった。令和6年度と令和7年度の分を想定して、さくらばさまの保育室の改修工事を行う。

回 答：さくらばさまの部屋を令和5年4月から改修工事を行い、令和6年4月から保育室として利用できるようにする。小規模園の計画は4園でそれ以上増やす予定はない。今年初めて小規模園から卒園して、連携園またはそれ以外の園に行くことが起こった。先ほど、課長が申したように、連携施設または地元に近い園などそれぞれの都合で園が決定した。実績をみなさまにお知らせすることで、3歳からはこういう園に行けるということを示し、実績を積み重ねていくことで、不安を解消していく必要があると思う。また、6月の会議の保護者アンケートの結果では、小規模園では先生との距離が近くていい、という肯定的な意見もいただいたが、3歳からのことが不安だとあつて、連携のことを考えておられる方が多かったので、きちんと対応していく必要があると思う。

【結果】「令和5年度小規模保育事業の設置及び運営事業者の公募について」は、委員の意見を踏まえ、順次事務を進めていくこととし、承認された。

## その他

年度末であり、委員それぞれの所属団体での役員改選に伴い、子育て支援会議委員の交代もあると思われるので、その際は委員選出の依頼をさせていただき旨お願いした。

以上

## 【提出された主な資料】

資料1…野洲市子育て支援会議名簿（第5期）※次第裏面

資料2…野洲市子育て支援会議条例及び規則

資料3…第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画 事業計画進捗管理 令和4年度

資料4…令和5年度小規模保育事業の設置及び運営事業者の公募について

資料5…令和5年度保育園・こども園・幼稚園・こどもの家 入所・入園申込状況について（R5.1月末時点）